

（学校名）香港日本人学校[大埔校]

学校・周辺環境



【学校について】

児童：（日本人学級のみ）小学部449名
 職員数：（日本人学級のみ）派遣教員16名、現地採用教員17名（内、財団募集7名）、事務職員5名、その他職員6名
 香港の新界（ニューテリトリー）に、香港が中国に返還された1997年に開校した香港で2番目の日本人学校です。
 学校は新界・大埔（タイポ）地区の郊外にある文教地区に位置し、新界でも最も大きな（地区人口で100万人）の沙田（シャータイン）へのアクセスが便利です。



【授業の様子】

子どもたちは素直で優しいです。
 授業以外でも大埔だ班活動（縦割り班活動）、クラブ活動、委員会や運動会、ランタナ祭（学習発表会）などの行事も盛んに行っています。
 各教室にはプロジェクターや実物投影機、パソコン等のICT機器が完備し、授業を行っています。
 英語は8名のネイティブによる授業を小学部1年生から週に5時間行っています。また3年生以上は工友もネイティブの教員がイメージで行っています。
 音楽は専科による授業を行っています。歌うことが好きな子が多く、合唱や器楽演奏などを発表する機会には美しい演奏を聴かせてくれています。



【主な行事】

1学期：入学式、5年生宿泊学習、大縄大会、英語暗唱大会、国際学級卒業式
 2学期：運動会、6年修学旅行、現地校との交流会
 3学期：ランタナ祭（学習発表会）、6年生を送る会、卒業式、修了式
 各種校外学習、イングリッシュトリップは毎学期あります。



【現地理解教育・国際交流】

現地校との交流：大埔の中心部にあるWKSメモリアルスクール校、学校に隣接するテンカービン校と定期的に交流会を行っています。

国際学級との交流：同じ校舎で学んでいる国際学級とは1年を通じて様々な交流が行われます。

- ① 学年毎に定期的・計画的に行う交流
- ② 短い時間を利用してお互いの授業を見たり、イベントに参加したりする交流
- ③ 日常的な交流…休み時間も同じ時間帯です。
- ④ スポーツ大会などにJISとして合同チームを組んで出場します。

また、低学年では日本人学級の英語の授業と国際学級の日本語の授業を合同で行うこともあります。
ネイティブの英語教師が中心となって企画される行事への参加：English Lunch, English Trip, English Assembly等が数多く行われ、児童が授業で習った英語を積極的に使う場となります。

生活環境



【住居】

学校採用教員の住宅は学校まで路線バス1本で通勤できる沙田地区にあるマンションを提供しています。マンションのセキュリティは警備員、スタッフ常駐で安全です。
 1LDK、家具つきで大型家電等も設置されているため、最低限の身の回りのものがあれば生活できます。



【周辺のお店・病院等】

学校採用の先生方が暮らす沙田にはNew Town Plazaという大きなショッピングセンターがあり、そのなかで買い物や食事、レジャーなどすべてができます。周辺にも大型スーパーや娯楽施設があり、すべてのビルが空中回廊で結ばれており、マンションから雨の日でも傘なしで生活ができます。日本からの輸入物多く、食材など多少高額ですが、ほとんどのものは手に入ります。
 病院や歯科医院が多く入るビルも近郊にいくつもあり、病院選びには困りません。英語が苦手な場合は通訳を付けて受診するサービスを受けることもできます。



【物価・休日・現地独自の文化等について】

日本に比べた物価の安さがかつて香港の魅力でしたが、香港の1人あたりのGDPは日本を抜く経済成長が続き、食料品など生活物価が高くなっています。

ネットやフリーWi-Fiの環境は抜群。携帯電話の契約料も日本に比べてとても安いです。

公共交通機関も充実しており生活での移動に不便はありません。タクシーも初乗り料金が380円ほどとても安くて便利です。

香港は超高層ビルが林立するイメージが強いですが、香港の面積の70%は自然公園で市街から簡単に海や山に行くことができアウトドアスポーツもとても盛んです。

言葉は中国語（広東語）と英語が公用語で、生活に必要な簡単なコミュニケーションは英語でOKです。

応募者へのメッセージ

校長より

香港日本人学校大埔校は、香港の中心街から北へ約20kmの大埔自然保護区に面し、緑豊かで穏やかな吐露灣を窓から眺める高台にあります。学校の近くには、開校以来親しく交流をしているティンカーピン校や香港中文大学があります。

本校は、英語で授業を行う国際学級(International Section)を併設しています。現在23カ国籍、4歳から11歳までの児童167名が国際学級で学んでいて、学校内で国際交流ができるという環境にあります。

日本人学級(Japanese Section)449名にこの国際学級を加えた600名以上の児童が毎朝登校するエントランスは、「おはようございます」「Good morning!」「早晨(ジウサン～広東語でおはようございます)」などいろいろな言葉と笑顔であふれます。

日本人学級と国際学級が特別教室やグラウンド、プールなどを共に使用する関係から、授業時間帯を合わせていこうとする試みで、平成16年度から15分のユニットを組み合わせた時間割(モジュール)を行っています。これによって登校時間や休憩時間をはじめ教育活動の時間帯が重なり、交流が自然な形で行われています。

香港は中華人民共和国の南部にある特別行政区(一国二制度)です。150年以上のイギリス植民地の歴史で世界に知られており、人々の生活水準が高く、治安も良く安全な国です。日本からの輸入品が容易に手に入り、医療技術も進んでおり、生活に不安を感じる部分はありません。こうした恵まれた環境の中、在外にある特色を生かしつつ、グローバルな視野を持った世界に羽ばたく国際人の育成をめざし、一丸となって頑張っているスタッフの中には、学校採用諸君7名を含め若手も多いです。学校全体で、しっかりとした計画を立てて研修の取り組んでおり、本校で2～3年勤務をした学校採用の先生方はしっかりとした指導力を付けて帰国しています。

心身ともに健康で、香港で学ぶ子どもたちのために真摯に情熱を注いでくださる方の応募をお待ちしています。

学校採用教員より

香港は治安もよく、夜景やグルメなど魅力のたくさんある国です。不安もあるかもしれませんが、経験豊かな文部科学省派遣の先生方のサポートを受けながら多くのことを学ぶことができます。

日本では経験できないような行事もあり、公私共に刺激的な毎日を送ることが出来ると思います。子どももとても素敵な子たちばかりで毎日楽しく授業をしています。香港の子どもたちのために、ぜひ、あなたの力を存分に発揮してください。